

法学研究科 法律学専攻（専修コース 政策科学系） 修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

法学研究科法律学専攻（専修コース 政策科学系）は、以下の能力を有すると認められた者に修士（法学）の学位を授与します。

■ 高度な専門的知識・技能

- 自治体などの公的機関、一般企業、教育機関、マス・メディア、NGO・NPOなどにおいて高度専門職業人として活躍するために必要となる専門的・実務的知識を修得している。
- 自らの専門研究に必要な語学運用能力、問題を科学的にとらえる定量的、定性的な高い分析手法を修得している。

■ 高い問題解決能力と表現力

- 自ら発見した問題について高度かつ適切な手法を用いて解決策を考案し、未来社会の構築へ向けて政策提言を行うことのできる政策的思考を身につけている。
- 学士課程での学修あるいは社会人としての経験から関心をもった特定の政策課題を高度かつ適切な手法を用いて研究することができる。
- 実証的調査研究及び実践的政策提言を行うに際して高度かつ適切な表現力を身につけている。

■ 高い倫理観に基づいた自律的行動力

- 自律的な高度専門職業人、知識基盤社会を支える高度で知的素養のある人材として、地域社会の中でリーダーシップを発揮することができる。
- 様々な組織における活動や組織間の協働において、高い倫理観に基づき適切なコミュニケーションを図りながら積極的で自律的な行動力を有している。

法学研究科 法律学専攻（専修コース 政策科学系） 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

法学研究科法律学専攻（専修コース 政策科学系）では、修了判定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するために、以下のとおり教育課程を編成し、実施します。

教育課程の編成

（編成の方針）

- 1 法学研究科法律学専攻（専修コース 政策科学系）は、未来社会の構築へ向けて政策提言を行うことができる高度専門職業人を育成するため、高度な分析手法と問題解決能力の修得を可能とする、順次性、体系的のある教育課程を編成する。
- 2 教育課程は、「専攻共通科目」「政策科学系科目」「法律学系科目」の3つの科目区分で編成し、コースワークによって体系的に学修することができるように科目を配置する。
- 3 「政策科学系科目」を「専門基礎科目」「専門科目」「特定課題研究科目」に細分し、さらに「法律学系科目」のうち一定の「専門科目」を受講できるようにして、政策科学および関連する法律学を順次的に学修することができるように科目を配置する。

（教育課程の構成）

※（）は修了に必要な単位数で、修了要件単位数 30 単位の内訳

法学研究科法律学専攻（専修コース 政策科学系）は編成方針に基づき、専攻共通科目（2）、専門基礎科目（2）、専門科目（18）、特定課題研究科目（8）の4つの科目区分で構成する。

1)「専攻共通科目」は、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得するための科目区分である。コースワークの導入的科目として、専攻共通の法政総合演習を1年次に配置する。2 単位必修とする。

2)「専門基礎科目」は、「専攻共通科目」と「専門科目」「特定課題研究科目」を有機的に関係づけるために、1科目を1年次に配置する。2 単位必修とし、他系の科目は履修できない。政策科学系では、政策科学固有の調査研究方法論の基礎を系統的に学習し、自らの専門的研究からの適切なアプローチの手法、課題解決に必要な情報収集・分析能力、政策評価能力の基盤を築くことを目的に、政策調査法を配置する。

3)「専門科目」は、自らが専門として研究する分野の高度で精緻な専門的知識を獲得する科目群である。1、2年次に配置する。研究指導教員が担当する科目の単位を含め、所属する系から 18 単位以上修得する。（専修コースでは 8 単位を上限に他系で修得した単位を含めることができる。）

政策科学系の「専門科目」は、専修コース履修者にとっては、地域社会で中核的な役割を担う高度専門職業人・知的素養のある社会人として必要となる政策科学分野の専門的・実務的知識を幅広く学習するために必要な科目群である。

法律学系の「専門科目」は、専修コース履修者にとっては、地域社会で中核的な役割を担う高度専門職業人・知的素養のある社会人として必要となる法分野の専門的・実務的知識を幅

広く学習するために必要な科目群である。

4)「特定課題研究科目」は、専修コース履修者用の科目群である。1、2年次に配置する。各自の経験から関心をもった特定の課題について、複数の教員による指導体制のもとで研究していく。

この科目群では、幅広い視野に立ちながら、「専門科目」で修得した高度な専門的・実務的知識、そして「専門基礎科目」で身につけた調査研究方法を駆使し、特定の課題を深く掘り下げて研究し、地域社会の中でリーダーシップを発揮する積極的・主体的な行動力等を身に付けていく。代表指導教員が指定する科目の単位 8 単位必修とする。なお、研究者コース履修者は履修できない。

教育の内容・方法

- ・ 授業は、講義、演習、実験、実習のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。
- ・ 予習・復習等、授業時間外の学修について、シラバスへの内容記載や授業での喚起等により、適切な学修時間の確保を促す。
- ・ 授業は、アクティブ・ラーニングを意識し、一方向的な講義ではなく、できるだけ双方向の授業を行う。ディスカッションやグループワークやプレゼンテーションの機会を重視し、レポート作成や課題、社会調査を通じて、自分の考えを磨き上げ、まとめ、他者に伝える訓練を行う。
- ・ 2年生1学期の授業の最後の回には、中間発表会を開催し、各自が1年生や教員の前で発表する。これにより、コミュニケーション能力や発表のスキルアップを図る。

学修成果の評価

- ・ 授業科目の成績評価は、授業への参加・貢献度、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートや課題、試験などによって判定する。成績が一定の水準に達している場合に所定の単位を認定する。
- ・ 修了するためには、所定の科目を含めた 30 単位以上の修得、必要な研究指導を受けた上で、学位請求論文等の提出を必要とする。
- ・ 学生の授業評価等を実施し、各科目での学生の理解度や授業への要望をはじめ、学修達成状況などを把握し、その結果を授業や教育課程の改善に役立てる。

法学研究科 法律学専攻（専修コース 政策科学系） 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

法学研究科法律学専攻（専修コース 政策科学系）は、次のような人を求めます。

求める学生像

- 学士課程では十分学習できなかった政策学的知識を補強するべく引き続き幅広く勉学を続け、高度の政策的素養を備えた公務員、教員、政治家、ジャーナリストなどの高度専門職業人を目指す人
- 実社会の経験を基に、政策に関連した特定の課題に強い関心を持ち、その専門的な知見を深め、研究成果を社会に還元することで地域社会等の問題解決・発展に貢献したいと考えている社会人
- リカレント教育または生涯教育を志し、職業経験を通じて養われた専門的知見を学問的見地からより深め、それを再び職業経験や社会的活動の中で活かすことを望む社会人

求める能力

【知識・技能】

- ・ 社会問題に強い関心をもち、専門研究を進める上で基礎となる社会科学の素養や分析手法を身につけている。
- ・ 自らの専門研究に必要な基礎的読解力、論文作成に必要な文章作成力、語学運用力を有している。

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 自らの研究する政策科学の分野について論理的に思考し、研究内容・成果を相手に適切に伝え、文章化する基礎的な表現力を身につけている。
- ・ 社会問題の現状分析を適切な手法を用いて行う判断力と解決策について提言する基礎的能力を有している。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・ 地域等を中心とした社会問題に対して、研究成果を積極的に生かし、主体性をもって多様な人々と協働して問題を解決しようという強い意欲や態度を有している。